

人形劇の名舞台を振り返る

Play Back the Stage



2019「アルファベットの人形たち」



2019「高丘親王航海記」



2014「田園に死す」



2022「人形劇 寿歌」

ある日私がグズると、保育士の友人が手遊びをしてくれた。そんなことされたらとっさに笑ってしまって、30代相手にになしてんだと思ったものの、手っておもしろいよねえと友人も笑ったので、そのまま他の手遊びも見せてもらった。体温をもつ指がほどこいていき、グズった原因もほどこれていくようで、友人が自分の指のことを自分じゃないみたいに扱うから、これはもう人形劇だなと思った。

ジョルディ・ベルトランカンパニー『アルファベットの人形たち』(2019年10月)が、チャリングでユーモア溢れる人形劇としてとても心に残っている。アルファベットの形をした手のひらサイズの人形が、ギターと笛の音色に合わせて生きているかのように小さなドラマを描いていく。造形も美術もシンプルでなんの変哲もないのに、アーティストたちから喜怒哀楽どころではない多彩な感情が呼吸を合わせて人形へ託されていて、愛されているのだろうとひしひしと感じた私もうっかり心を奪われてしまった。

『高丘親王航海記』が再演すると聞いて小躍りしたので再演時の話も。そもそも2014年に観た流山児★事務所『田園に死す』で天野演出に初めて触れた私は、木暮拓矢等俳優たちの圧倒的な熱量も含めて舞台空間全体に飲み込まれて没入したのを今も覚えている。2019年の今作品を観ながら、舞台上の肉体は人形遣いのみになり最後昇天するに至るまで、この舞台に現れる人形たち、シーン展開、演出の想像力を実現するにあたって不可能はもうなくなるのではと戦慄した。つい先日2022年11月に、愛知人形劇センター主催で行われた『寿歌』のアフタートークにて、国際人形劇連盟日本センター(日本ウニマ)事務局長である玉木暢子さんの「当たり前だけど、人形たちはこの公演のためにつくられている」という言葉が改めて刺さっている。

人が演じているお芝居を観るより、人形劇を観る時のほうが何かを汲み取る脳みそが働いている気がして、間違った汲み取りをしないようにたくさん観続けたいと思います。

愛知人形劇センター理事 絵島クコ

「ひまわりホールアートラボ」だより 世界をつないだ特別講座のご報告



左から山口暹子氏、ヤクブ・ホラ氏

現在開催されている「ひまわりホールアートラボ」の特別講座として、1月6日にひまわりホールとドイツ・ミュンヘンをリモートでつなぎ『ドイツ・チェコ・日本の人形劇人と考える「新しい人形劇」』と題したセミナーを開催しました。

スクリーンに映っているのがマシャ・エルベルディング氏

世界の人形劇はこれからどこへ向かうのか？ 人形劇にとって目指すべき「新しさ」とは何か？ これらを考えるきっかけとして、ドイツ・ミュンヘン市立博物館人形劇部門ディレクターのMascha Erbelding(マシャ・エルベルディング)氏、チェコ・ピルゼン市立アルファ劇場代表のJakub Hora(ヤクブ・ホラ)氏、独立行政法人日本学術振興会特別研究員(PD)の山口暹子氏をお迎えし、山口氏の通訳及びファシリテートのもとパネリストが気になるヨーロッパ最新人形劇を9作品紹介いただきました。

会場にはアートラボ受講生を含め22名が集まりました。中部圏以外からの参加もあり、関心の高さがうかがえました。予定の2時間を大幅に超えてのセミナーになりましたが、情報量が多すぎて質疑応答時間がわずかしかなかったのは残念でした。

オンライン全盛の時代になり、リアルタイムで世界の情報を共有できる時代に相応しい講座でした。この先も継続した取り組みをしていきたいと思います。

愛知人形劇センター理事 中 康彦

10カ月の成果がひとつの舞台に……

6月から始まった、パペット×フィジカル×アートを学ぶ「ひまわりホールアートラボ」。その集大成として成果発表公演を開催します。これまでの成果を、講師スタッフとともに1本の作品に仕上げました。たった1回・定員63名の公演です。どうぞお見逃しなく！

ひまわりホールアートラボ 成果発表公演

『人形劇 怪異夜行』

3月26日(日) 14:00
損保ジャパン人形劇場ひまわりホール
500円

申込サイトはこちら



キャスト(ひまわりホールアートラボ後期受講生)

伊藤かよ子、井本優子、小松雅菜、高見いわな、チャーリーホッパー、福田宏代、福羽昌樹、LEO、レンカ

スタッフ

照明：絵島クコ
音響：堀場眼助
舞台監督：鈴木寛史
製作補佐：とーやん(ひまわりホールアートラボ後期受講生)

講師

大野正雄(人形劇むすび座)
ゆみだてさとこ(パペットシアターゆめみトランク)
LONTO(ラストラーダカンパニー)
ヨコヤマ茂未
ニノキノコスター(オレンヂスタ)



特定非営利活動法人
愛知人形劇センター
〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-22-21
損保ジャパン名古屋ビル8F
TEL 052-212-7229 FAX 052-212-7309
https://aichi-puppet.net/ MAIL:mail@aichi-puppet.net

愛知人形劇センター
ひまわりホール情報誌
あぶ
愛知人形劇センター
〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-22-21
損保ジャパン名古屋ビル8F
TEL 052-212-7229 FAX 052-212-7309
https://aichi-puppet.net/ MAIL:mail@aichi-puppet.net

あぶ

Aichi Puppetry Center

ひまわりホールから
発信する
シアター情報誌



愛知人形劇センターPresentsの2作品で 大収穫



『夢の検問官』 原作：筒井康隆、脚本・演出：くすのき燕(写真上)
『人形劇 寿歌』 作：北村想、演出：ニノキノコスター(写真下)